

導入すべき持続性の高い農業生産方式一覧

作物 []内:作型	土づくりに関する技術		化学肥料低減技術		
	たい肥等	緑肥作物	局所施肥	肥効調節	有機質
水稲					
小麦					
落花生					
きゅうり[露地栽培]					
きゅうり[半促成・抑制栽培]					
トマト[露地栽培]					
トマト[施設栽培]					
すいか					
いちご					
メロン[露地栽培]					
メロン[施設栽培]					
かぼちゃ					
なす					
えだまめ					
未成熟とうもろこし					
ねぎ					
たまねぎ					
ブロッコリー					
キャベツ					
はくさい					
レタス[春どり]					
レタス[秋どり]					
こまつな					
ほうれんそう					
だいこん					
かぶ					
にんじん					
ばれいしょ(じゃがいも)					
かんしょ(さつまいも)					
さといも					
とうがん					
みかん[露地栽培]					
みかん[施設栽培]					
なし					
かき					
ぶどう					
うめ					
くり					
キウイフルーツ					
茶					
カーネーション					
スイートピー					
ばら					
きく					

持続農業法による 省令技術

技術名	概要
1. 土づくりに関する技術	
堆肥等有機質資材施用技術	<p>土壌有機物含有量等土壌の性質の調査の結果に基づき、堆肥その他の有機資材であって、炭素窒素比が概ね10～150の範囲にある物を農地に施用する技術</p>
緑肥作物利用技術	<p>土壌調査を行い、レンゲ等の緑肥作物を栽培して農地にすき込む</p>
2. 化学肥料低減技術	
局所施肥技術	<p>作物の根の周辺に肥料が利用されやすいよう集中的に施用</p>
有機質肥料施用技術	<p>なたね油かす等を化学肥料に代替する</p>
肥効調節型肥料施用技術	<p>肥料成分が溶け出す速度を調節した化学肥料を施用する</p>
3. 化学農薬低減技術	
温湯種子消毒技術	<p>種子の温湯浸漬により有害動植物を駆除する</p>
機械除草技術	<p>機械による雑草の駆除</p>
除草用動物利用技術	<p>アイガモ、コイ等を水田に放飼し、除草する</p>
生物農薬利用技術	<p>天敵等を利用し、病虫害を駆除する</p>
対抗植物利用技術	<p>土壌中の有害動植物を駆除する効果を有する植物を栽培する</p>
抵抗性品種・台木利用技術	<p>抵抗性をもつ品種、またはその農産物を台木として利用する</p>
熱利用土壌消毒技術	<p>太陽熱、熱水、上記により土壌を消毒する</p>
土壌還元消毒技術	<p>土壌中の酸素の濃度を低下させることにより、土壌中の有害動植物を駆除する</p>
光利用技術	<p>反射資材・黄色灯等、昆虫の光に対する行動を利用する</p>
被覆栽培技術	<p>べたがけ・雨よけ・トンネル等による物理的防除</p>
フェロモン剤利用技術	<p>フェロモントラップ等による交信攪乱</p>
マルチ栽培技術	<p>土壌の表面をフィルム等で被覆し、雑草を抑制する</p>

省令技術とは、持続農業法第2条に基づき農林水産省令で定める技術をいう。